

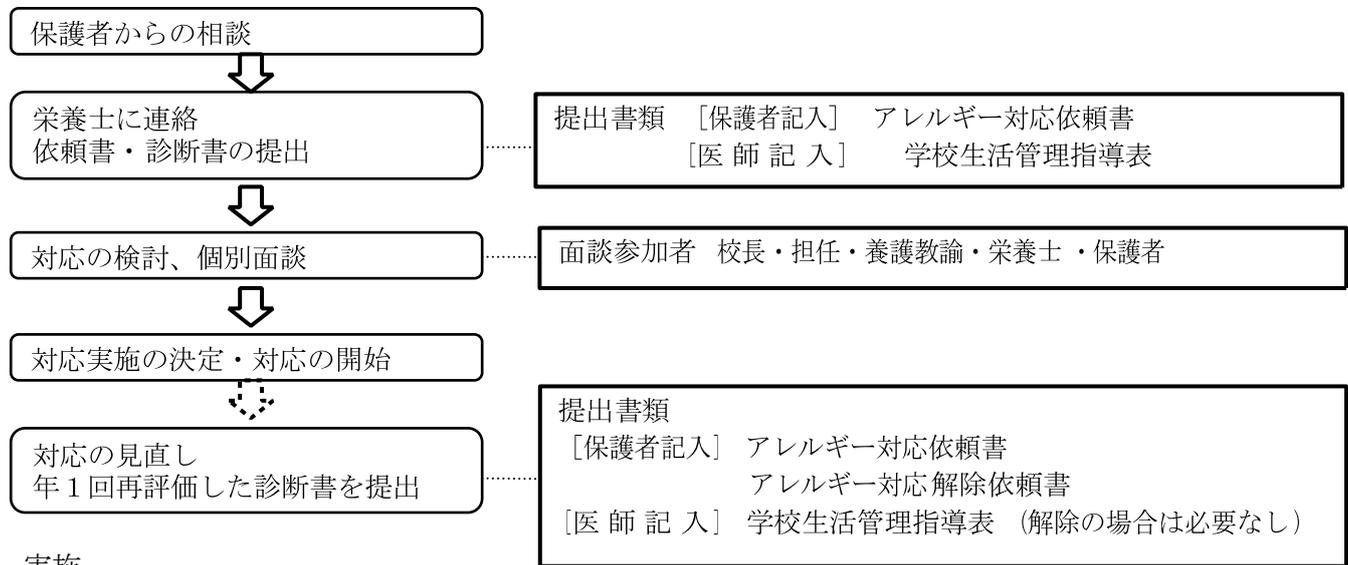
《食物アレルギーの対応》

1 基本方針

江戸川区の「学校給食における食物アレルギーの対応について」（平成28年1月）に基づき行う。

- (1) 食物アレルギーの対応は、過敏食品の除去を基本とし、代替は行わない。
- (2) 医師からのアレルギー診断書（学校生活管理指導表）の提出を求める。
- (3) 実施の決定は学校長が行い、副校長・担任・栄養士・養護教諭・調理主事・学校医等の関係者が連携して対応する。
- (4) 学校の実状から判断し、継続して行える作業の範囲で行う。
- (5) 対応中は、保護者および主治医との連絡を密にする。

2 対応開始までの流れ



3 実施

(1)前月

栄養士：アレルギー対応献立表を作成保護者：希望する対応に○をし、栄養士に提出
栄養士：給食室に連絡・指示

担任：除去食の日にちと除去品目の確認

除去食対応表は保護者・担任に配布する。

(2)給食室での調理

- ① 打ち合わせにおいて、除去内容を確認し、動線の交差や使用器具の混合を防ぐ工程を組む。
- ② 調理したものは皿に配食し、フードカバーをかぶせ、組・氏名・除去食物名・料理名を記入する。
- ③ 除去食の工程を工程表に記入する。

3)クラスでの対応

- ① 除去食は、配膳車に1食分盛り付けて設置する。児童・担任は、対応表と除去食が合っているか確認する。
- ② 給食準備では、料理や使用器具を混合しないように注意する。
- ③ フードカバーは机の上に置いたまま、食べる（誤食を防ぐため）。
- ④ 除去食のある日は、おかわり（へらす）しない。
- ⑤ 使用後の皿およびフードカバーは、ワゴンに戻す。

※補教の際は、担任が補教担当に申し伝えを必ず行う。

4 緊急時の対応

発見者 = 観察

- ①子供から目を離さない、ひとりにしない。
- ②助けを呼び、人を集める。
- ③エピペンと内服薬をもってくるように指示する。

教職員 A 「準備」

緊急時対応の準備
エピペンの準備
AED の準備

教職員 B 「連絡」

救急車の要請
管理職を呼ぶ
保護者への連絡

教職員 C 「記録」

観察開始時刻
エピペンを使用した時刻
5分ごとの症状
内服薬を飲んだ時刻

教職員 D 「その他」

ほかの子供への対応
救急車の誘導

緊急性が高いアレルギー症状があるか 5分以内に判断

〈緊急性が高いアレルギー症状〉

全身症状

- ・ぐったり
- ・意識もうろう
- ・尿や便をもらす
- ・脈がふれにくい
- ・唇や爪が青白い

消化器の症状

- ・我慢できない腹痛
- ・繰り返し吐き続ける

呼吸器の症状

- ・のどや胸が締め付けられる
- ・声がかすれる
- ・犬がほえるようなせき
- ・息がしにくい
- ・持続する強いせき込み
- ・ゼーゼーする呼吸

これらの症状が一つでもあれば

- 救急車を要請（119番通報）
- ただちにエピペンを使用
- 反応がなく、呼吸がなければ
心肺蘇生→AEDの使用
- その場で安静
 - ・動かさない！
 - ・立たせない！
 - ・歩かせない！

● エピペンの使い方 —アナフィラキシーがあらわれたら—

STEP 1 準備

携帯用ケースのカバーキャップを指で開け、エピペンを取り出します。オレンジ色のニードルカバーを下に向けて、エピペンのまん中を利き手でしっかりと握り、もう片方の手で青色の安全キャップを外し、ロックを解除します。



● 青色の安全キャップをかぶせた状態では、パネが固定されており、注射針が不用意に飛び出さないようになっています。使用時まで青色の安全キャップは取り外さないでください。

● 安全キャップを外した後は、誤注射を防ぐため取り扱いに十分注意してください。

● 絶対に指または手などをオレンジ色のニードルカバーの先端に当たらないように注意してください。

● 使用する前に注射器の窓から見える薬液が変色していないか、また沈殿物がないかを必ず確認してください。

STEP 2 注射

エピペンを太ももの前外側に垂直になるようにし、オレンジ色のニードルカバーの先端を「カチッ」と音がするまで強く押し付けます。太ももに押し付けたま数秒間待ちます。エピペンを太ももから抜き取ります。



● エピペンの上下先端のどちらにも親指をかけるように握ってください。

● 太ももの前外側以外には注射しないでください。

● 太ももにエピペンを振りおろして接種しないでください。

● 緊急の場合には、衣服の上からでも注射できます。



STEP 3 確認

注射後、オレンジ色のニードルカバーが伸びているかどうかを確認します。ニードルカバーが伸びていれば注射は完了です（針はニードルカバー内にあります）。



● オレンジ色のニードルカバーが伸びていない場合は、注射は完了していませんので、再度、STEP1～3を繰り返して注射してください。

● エピペンの注射後は、直ちに医師による診療を受けてください。

STEP 4 片付け

使用済みのエピペンは、オレンジ色のニードルカバー側から携帯用ケースに戻します。



● 注射後は、オレンジ色のニードルカバーが伸びているため、携帯用ケースのふたは閉まりません。無理に押し込まないようにしてください。

● 注射後、薬液の大部分(約1.7mL)が注射器内に残っていますが、再度注射することはできません。

● エピペン注射液を使用した旨を医師に報告し、使用済みのエピペン注射器と青色の安全キャップを医療機関等にお渡しください。